★幼稚園教育・子育て支援

幼児期が子どもの成長過程の中で特に重要な時期であることを踏まえ、遊びを中心とした楽しい集団生活の中で、幼児の自発的な活動としての遊びを生み出す環境を整え、個性を見極めながら成長を促すことが重要であり、保護者との信頼関係を十分に築き、共によりよい教育環境を提供できるよう努めます。

また、家庭の子育てを応援するため、預り保育や延長保育などの施策についても継続実施します。

★学校施設・設備の充実

学校施設等の整備は、適正な維持管理に努め、各施設の状況を把握し、計画的な改修・修繕を行います。

昨年、鬼鹿小学校の校舎改修並びに屋内体育館改築事業が完成し、温かく高品質な学び舎での授業が開始され、今年度は鬼鹿小学校周辺環境整備事業並びに、旧鬼鹿小・中学校体育館の解体を実施します。

★社会教育の推進

「第6次社会教育中期計画」に基づき、「地域をあげて子供を育てる環境づくり、支え合う協働の学びの場づくり、芸術・文化に集う人づくり、世代をこえて楽しめる生涯スポーツの振興」を目指し、町民一人ひとりの自己研鑽活動を支援します。

★地域を上げて子供を育てる環境づくり

乳幼児期の遊びの場及び親同士の交流の場として、「うちの子一番クラブ」「子育てサロン」の充実を図ります。

姉妹都市「東京都小平市」との「少年少女交歓交流事業」は、お互いのまちを理解し、広い見識が身に付く、社会体験事業であることから、多くの子どもたちが参加出来るよう取り組みます。

小・中学生を対象に行う化石発掘体験は、日常ではできない貴重な経験であることから、学校と連携を密にしながら実施します。

★支え合う協働の学びの場づくり

町外の専門家を招き、気付かない町の魅力について講演をしてもらう、講座型「おびらふるさと塾」を実施します。

また、女性の活発な活動が求められていることから、各婦人団体との連携を図りながら、学習機会の提供とその内容の充実に努め、地域づくりの中核を担う婦人活動の支援に努めます。

★芸術・文化に集う人づくり

第2次小平町読書推進計画に基づき、町民の読書ニーズと学習意欲に対応した図書の充実や図書情報の提供に努めます。

本に親しむ機会を増やすブックスタートや読み聞かせを継続実施します。

また、道立図書館とのインターネット予約貸出サービスを開始するとともに、小・中学生を対象とした読書感想文コンクールの実施など、読書に親しむ環境づくりに努めます。

先人の歴史や文化を知る郷土資料については、貴重な町の財産として収集資料の適正管理に努め、子どもたちが「ふるさと小平」の成り立ちに興味を示すような事業展開に努めます。

また、鬼鹿松前神楽保存会等の郷土芸能の保存、伝承に取組む団体への支援に努めます。

文化協会加盟団体や各種サークル団体は、文化交流センター・鬼鹿公民館等を拠点に活発に活動を行っており、その成果は「町民文化祭」をはじめ様々な場で発表されており、今後は、町民の文化志向を高めることで、更なる活発な活動ができるよう環境整備に努めます。

地方にあっても優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、サポーターズクラブとの連携により舞台芸術鑑賞事業を促進し、幼児や小・中学生にも素晴らしい生の芸術に触れる機会や、町内の各種文化に触れる機会の提供に努めます。

★世代をこえて楽しめる生涯スポーツの振興

幼稚園、学校と連携し、各種スポーツ体験教室を実施し、幼少・児童期からスポーツの楽しさを体験してもらうよう努めます。

また、個々人の年齢や障がいを持った方々の身体状況に応じたスポーツ機会の普及・発展に関係団体と連携を図りながらスポーツ教室等を実施するよう努めます。

おびまる広場の起伏のある遊歩道が「すこやかロード」と認定されました。

これを機に、誰でも気軽に健康づくりができるウォーキングの普及と「すこやかロード」の利用向上を図るため、ウォーキングイベント等を実施します。

また、町体育協会や各スポーツ団体においては、会員減少と高齢化が課題となっておりますが、団体との連携を図りながらスポーツ大会を開催し、各団体の活動の助長に努めます。

管内で唯一の海洋スポーツ体験施設は、町内外の子ども達等の研修の場としても活用されていることから、近隣宿泊施設と連携し、利用の拡大に努めます。

北海道でスキーは主要なアウトドアスポーツであり、健康増進、子ども達の野外教育活動の場として貴重、安全で楽しい生涯スポーツの一つとなるよう、スキー場の管理運営に努めます。

★おわりに

以上、平成30年度教育行政の執行方針について申し上げましたが、その執行にあたっては、「すべては、子どもたち一人ひとりのために」を基本とし、なお一層本町教育の充実・発展に努めてまいりますので、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。